

地球の生命に貢献し、地球の長寿に励まなければならない。人は地球の一員である。

・老後の生活は常に社会とかかわって行きたい。年齢に応じた仕事（パートなど）、ボランティア（老人福祉関係）も現在同様続けて行きたい。

・働けるものはなるべく働かせ、社会参加による自信と自立を自分が持つことによる活気を、それぞれに持たせることが次世代の者にとっても、本人にとっても良いことであり、年金等で保護する発想は、人間をだめにしてしまう傾向があると思うし、社会保障のコストを大幅に増やさないためにもできるだけ社会全体で考えるべきだと思う。

## 6. 生活設計全般

・バブル時、不動産1億円を大宮にて三和不動産の勧めで購入、毎月約50万運用中。但し貸してあるため収入33万/月、入金。価値も半値に下りており困っています。約7～8割に購入した分、現在償却もできません。

・できることなら、国や公共にお世話にならずにたのしい老後を送りたい。

・おかげ様で、目下、皆、健康に恵まれており、感謝しております。年もとってきましたが、いつまでも心身ともに健康でありたい。

・60才を過ぎても仕事がいつでもあるようにしていただきたい。家がないものにとっては、家賃を5万以下で住めたら良いと思う。

・公、民、どちらも為になりません。自分の力でとを考えていく方が、つまずきがないと思います。自力と公（又は民）であれば不足はありません。先ずは自分の力です。

・老後は好きなことをして暮らしたい。そのために、今現在勤勉でありたいし、努力を惜しまない、誰かの世話にならずに暮らせたら最高。

・今の借金生活から、いかにして脱出するかを考える方が先、老後のことはなり行きにまかせます。

・私は自営業ですので、仕事ができなくなったらどのくらいの金融資産を用意できたら周囲の方々に迷惑を掛けずに晩年を終わることができるのか心配です。今は一生懸命働いています。

・未亡人となり金銭面、身体面、子供の邪魔をしないようにとがんばっておりますが、本音を申しますと、心細く、不安です。

・自営業ですので当人（本人）の身体の健康のみが資本です。その点で、確かに元気で（健康で）働いている間は収入があり、ゆとりのある生活が出来ていますが、老化し、体力が衰えていく将来の生活（老後の生活）に不安があります。かといって、バブル時に、つまらない投資で資産を潰し、預貯金も余りなくなり、持ち家を大事にする。リバース・モーゲージ制度とやらは、初めて聞いた言葉で、余りなじめず、理解ができませんでした。

・1ヶ月ばったりの生活ですから、見とおし無し。ぶつかったときに切り抜けていきます。

## 7. その他

・只今、75歳、旅行に趣味と楽しい人生を送っています。

・人口が将来減少することから資産の価値は下がると思う。自分の老後を頑張っ  
てよりよくしようとする人が少なくなった。

・自営で子供も後継者となり、私は71歳ですが、仕事（理容業）に就いておりま  
す。老後のことはあまり心配しておりません。

・私のアパートマンションの収入が1ヶ月、160万円くらいある。どんな小さな  
土地でもアパートにするテクニックを知っています。宅地建物取引主任の資格を  
とり、不動産収入の方法を身につけてました。来年は成田空港の近くに2DK、  
4つのアパートを建てる予定です。1つは私のセカンドハウスに使います。（もち  
ろんキャッシュです）今から楽しみです。

・子供も中学生でまだ老後を考える現実感がありません。

・仕事が民間有料老人ホームでヘルパーをやっております。介護福祉士で健康運  
動指導員として、自立出来る高齢者を多くしたいなと思っております。どんな  
データが出るか楽しみです。

・今まで通りで良いと思います。

・健康であれば良い。

・これからの日本に期待出来ない。不安だらけ。

・居住用不動産が無いので、あまり関心はありません。

・記名回答の方が良いと思う。そのためには個人データの守秘義務は、信義の問  
題として厳格に扱われたい。